

ユーザー・フレンドリー・インターフェース

ST2 HiFi の操作方法について

ST2 HiFi は VNC サーバーの機能を持っており、すべての操作は VNC を介してネットワーク接続可能なPCやタブレット端末などでおこないます

■ トリノフ ST2 HiFi の本体には電源スイッチがあるのみです。すべての操作は VNC (バーチャル・ネットワーク・コンピューティング) 機能を使用してお手持ちのPCまたはタブレット端末にて行います。

■ ST2 HiFi を使用のお部屋に LAN (ローカル・エリア・ネットワーク) 環境が存在しているのであれば、LANケーブルを使用して ST2 HiFi を有線でネットワーク接続することがもっとも簡単なご使用方法です。ST2 HiFi がネットワーク接続されていれば同じネットワーク内に存在するPCやタブレットで ST2 HiFi を操作することができます。

- 操作に使うPCやタブレットにはあらかじめ VNC ビューワーソフトをインストールしておく必要があります。
- VNC ビューワーソフトはインターネット上からフリーソフトをダウンロードすることにより入手可能です。
- 操作に使用するPCもしくはタブレット端末は、ST2 HiFi には含まれておりません。別途ご準備ください。
- 別売の WiFi アダプターをご使用いただくことにより、ネットワークへの WiFi 接続も可能です。



ネットワーク経由で操作端末と通信

■ ST2 HiFi を使用のお部屋に LAN (ローカル・エリア・ネットワーク) 環境が存在しない場合でもご心配は無用です。ST2 HiFi には自身がアクセスポイントとして動作できる機能があり、この機能によりPCやタブレットなどの操作端末と直接通信することにより操作が可能です。

- 別売の WiFi アダプターをご使用いただく必要があります。
- 操作に使用するPCもしくはタブレット端末は、WiFi 接続できるものをご使用ください。



ST2 HiFi のアクセスポイント機能を使用して操作端末と通信

ST2 HiFi 主要スペック

メインプロセッサー: Intel Dual-Core 1.8 GHz
データ処理方式: 超高速 64 bit 浮動小数点演算方式
許容チャンネル数: 4 ch (at 96 kHz)

A/D コンバーター部:
レゾリューション & サンプリングレート: 24 bit / 96 kHz
S / N: 119 dB (A-Weighted)
THD + N: -103 dB

D/A コンバーター部:
レゾリューション & サンプリングレート: 24 bit / 192 kHz
S / N: 118 dB (A-Weighted)
THD + N: -98 dB

入力端子: 2 x Analog XLR balanced (20k Ohms)
2 x Analog RCA single-ended (10k Ohms)
1 x Digital XLR AES-EBU (110 Ohms)
1 x Digital RCA S/P DIF (75 Ohms)

出力端子: 2 x Analog XLR balanced (200 Ohms)
2 x Analog RCA single-ended (100 Ohms)
1 x Digital XLR AES-EBU (110 Ohms)
1 x Digital RCA S/P DIF (75 Ohms)

寸法・質量 (W) 441 x (H) 97 x (D) 418 mm, 9.5 kg

別売品

測定用 3D マイクロフォン
WiFi 接続用アダプター

販売店

TRINNOV

AUDIO



Digital Sound Optimizer
ST2 HiFi

デジタルグライコをはるかに凌駕する!
サウンドを劇的に改善するデジタル・サウンド・オプティマイザー

新次元のサウンド補正機能！

3D音響のスペシャリスト「トリノフ・オーディオ」がすべてのオーディオサウンドを画期的に改善いたします！！

ST2 HiFi はただのグライコではありません！ グライコの遙か上をいくサウンド・オプティマイザーです！！

トリノフ ST2 HiFi は、ひとこと言うと、テスト信号とマイクロフォンを使用して音響特性を自動補正する機械です。

同様の機械は他社からも既に何年も前からリリースされておりますが、トリノフ ST2 HiFi は、それらのものからはひと味もふた味も異なります。他社製品は単に周波数特性のみの補正であるのに対して、トリノフ ST2 HiFi は周波数特性のみならず、**時間軸特性までも含めて補正**するところが圧倒的なアドバンテージです。

独自の時間軸補正を可能にする3Dマイクロフォン

トリノフ ST2 HiFi では、トリノフ・オーディオ独自の3Dマイクロフォンを計測に使用します。3Dマイクロフォンは正四面体形状に配置された4つのマイクで構成されます。4つのマイクで同時に計測を行い、マイクそれぞれのレベル差と時間差を独自のアルゴリズムで総合的に計算することにより、時間軸補正が可能となるのです。



自動的な最適化

トリノフ ST2 HiFi の操作はいたって簡単です。手順の通りに数ステップの操作を行うだけで計測が終了し、計測結果はトリノフ独自の時間周波数アルゴリズムにより、下記の特性すべてが自動的に最適化されます。

- 周波数特性と左右のスピーカーレベル差整合
- 左右スピーカー位置の特定(マッピング)と必要な遅延時間の設定
- 位相特性
- 群遅延特性
- インパルス応答

最適化の後に、グライコ機能で音調を自在に調整可能！

トリノフ ST2 HiFi により最適化された音響状態をベースにグライコ機能によって音調を好みに合わせることが可能です。トリノフST2 HiFi には 1/3 oct. 31バンドデジタルグライコ機能が装備されています。



1/3 oct. 31バンド
グラフィックイコライザー

最適化された結果を5つのパターンに展開して自動プリセット

トリノフ ST2 HiFi は補正值を計算し最適化を行った後、トリノフ独自のアルゴリズムで結果を用途や好みに合わせて5つのパターンに展開し自動的にプリセットいたします。自動的に生成される各プリセットにはそれぞれ COMFORT / NATURAL / NEUTRAL / PRECISION / MONITOR の名称が割り振られます。全ての場合において、最適化のレベルは共通です。

- COMFORT (コンフォート・くつろぎタイプ) : 周波数補正目標をフラットではなく、低域を少し持ち上げ、中高域にかけて少し落としたリラックスサウンド
- NATURAL (ナチュラル・自然タイプ) : L・R両スピーカーの特性の平均値を周波数補正目標とするタイプ
時間軸特性は正しく整えたいが周波数特性はオリジナルを尊重したい場合にデフォルトの設定。すべてにわたリバランスをとった中庸的な設定
- NEUTRAL (ニュートラル・中立的) : デフォルトの設定。すべてにわたリバランスをとった中庸的な設定
- PRECISION (プレジジョン・精密的) : 時間軸特性を最大限フォローした、より視覚的なサウンドステージを優先する設定
- MONITOR (モニター・モニター志向) : 周波数特性を優先して最大限フラットに近づける設定

さまざまな最適化モード

トリノフ ST2 HiFi には用途に応じて次の4つの最適化モードがあります。

- Amplitude + Phase : 周波数特性と時間軸特性の両方を最適化する、ST2 HiFi の特徴を生かした標準モードです。
- Amplitude: 周波数特性のみを最適化するモードです。時間軸補正はされません。
- Low Range Only : 低域(出荷時設定では150Hz以下)の周波数特性のみを最適化するモードです。時間軸補正はされません。
- According to L & R speakers: 低域(出荷時設定では150Hz以下)の周波数特性を最適するとともに、L/R 両方のスピーカーの特性の平均を目標カーブとして最適化を行うモードです。時間軸補正も合わせて行われます。

各モードは簡単に切り替えることができます。再度計測をする必要はまったくありません。

ベースマネージメントとアクティブクロスオーバー機能

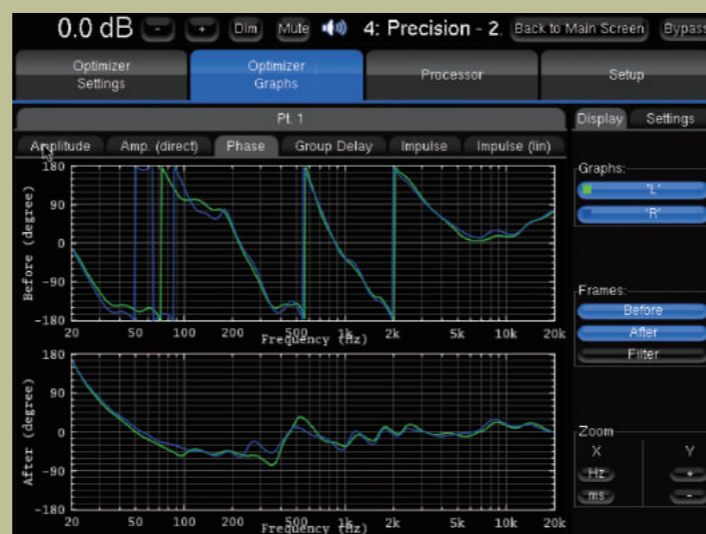
ST2 HiFi には、独立した1台もしくは2台のサブウーファーを使用する場合のクロスオーバーフィルター機能を備えています。この機能は同様に、2ウェイのアクティブクロスオーバー機能として使用することも可能で、2ウェイマルチシステムのデジタル・チャンネル・デバイダーとして機能いたします。この場合、クロスオーバー周波数とフィルタを設定した後に自動補正を行うことで、マルチドライブシステムにおいても周波数特性と時間軸特性の最適化が可能です。位相特性などの最適化はマルチドライブシステムにおいては大変重要で、この最適化によりサウンドは見違えるように向上します。

最大29個のプリセット

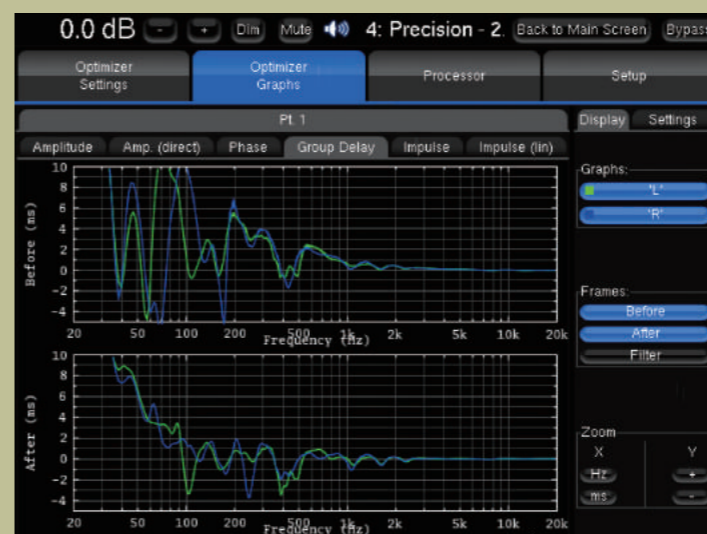
ST2 HiFi には、29個のプリセットスロットが準備されています。お好みの音調に調整したグライコ設定などを自由に保存・呼び出しすることが可能です。



周波数特性グラフ
最適化前(上)と最適化後(下)の実例



位相特性グラフ
最適化前(上)と最適化後(下)の実例



群遅延特性グラフ
最適化前(上)と最適化後(下)の実例



インパルス応答特性グラフ
最適化前(上)と最適化後(下)の実例